

子供たちのために、できることを・できるときに 地域ぐるみで実践

愛知県豊田市

活動名

浄水北小学校支援地域本部

関係する学校

浄水北小学校

※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）

活動区分	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
土曜日の教育活動	0人	72人	26年度	無	有	有	有
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	2人	403人	26年度	有	有	有	有
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	2人	12人	228日	有	無	無	無
コミュニティスクール	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携	
	メディアセンター（図書室・コンピュータ室）				26年度	連携型	
	指定日				委員数	児童生徒数	学級数

活動の概要・経緯

- ・平成26年、新設校として開校すると同時に、学校支援地域本部を設置し、保護者や地域のボランティアによる学校支援活動と、子供のための教育活動を行っている。
- ・校内に、地域支援室を設置し、配置した地域コーディネーターが学校と保護者・地域のパイプ役を担っている。
- ・保護者と地域の人々が、学校に気軽にかかわりをもつことができるように、「できることを・できるときに」の精神での、ボランティア活動を主体としている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ① 豊かな土曜日のための活動 ・土曜学習（体力づくり教室・「寺子屋」学習支援・各種講座・遊び場）
- ② 放課後の子供の居場所づくり ・授業後、学校内で学習・読書や遊びをして過ごすことができる。
- ③ 学校支援活動 ・ボランティアによる環境整備
- ④ 学校林整備と活用

【実施に当たっての工夫】

- ① 学校支援活動（通常のPTA活動を含む）を、全て「できることを・できるときに」行うボランティア活動とした。
- ② 学校施設を積極的に有効活用し、通常の教育活動以外に、放課後や土曜日に子供のための活動を取り入れた。

事業を実施して

- ・開かれた学校づくりが行われている。保護者アンケートでは「保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか？」との質問に、「大変よくできている（51.6%）」「よくできている（41.3%）」との回答。
- ・地域ぐるみの教育が進められている。保護者アンケートは、「地域・学校・保護者が一体となって、地域と子供たち、そして学校をよりよいものにしていこうという気運が生まれてとても良いと思う。」との回答。

その他

企業・NPOとの連携（土曜：一般社団法人豊田青年会議所）（本部：一般社団法人豊田青年会議所）
 学習支援（土曜：高校生・大学生による学習支援）（本部：高校生・大学生による学習支援）
 ICT活用（土曜：電子黒板の活用）（本部：電子黒板の活用）



登校の見守りを終えて、地域支援室でくつろぎ、意見交換をするボランティア



ボランティアによる学校の花壇づくり